板一中　小中一貫学びのエリア（板二小・板六小・板七小・板一中）

板二だより

学校情報化優良校　・ユネスコスクール認定校
板橋ｉカリキュラム活用実践校（読み解く力）
ユネスコ無形文化財（和食）に関するモデル授業校

板二小ホームページ　QR

令和５年６月３０日
板橋区立板橋第二小学校
校長　　小 澤　裕 行
令和５年度　７　月　号

無意識にできる子供

校長　小澤　裕行

早いもので１学期も最後の月となりました。今年は校庭の緑の色が一段と鮮やかな感じがします。今の所、１学期の教育活動は順調に行えていると感じております。

この１学期、大きな行事としては５年生と６年生の宿泊学習が行われました。コロナ感染に気を配りながらも、昨年度よりも状況が改善されている中での実施ということもあり様々な活動を行うことができました。

学校を離れた大自然の中での生活は、子供たちの間で普段見られない力を発揮する機会であり、大きな成長の機会であると改めて実感しました。起床や片付けなど、家ではある意味保護者の方々に頼っていた事も、宿泊学習では子供たちは、自分で・自分たちで、行わなければならない状況におかれました。普段おとなしい子供が学校で見せない「リーダーシップをとって同じ部屋の友達に声かけしたりしている」行動をとり、頼りがいを感じました。

また６年生の日光移動教室の食事の場面では、宿の人が子供たちの食事をしている席を回り、お茶のおかわりを注ぎに来てくれた際、「ありがとうございます」と声を出していました。こういう何気ない言葉をさっと言える板二小の子供たちに感動を覚えました。何気ない言葉を言う場面は他にもありました。ハイキングで頑張って歩いている人にむかって励ましの言葉をかけてくれた友達に「ありがとう」と言ったり、荷物を置く場所の空間をあけてくれた友達に対して「ありがとう」と言ったり…　実はこれらは全て凡事徹底の一つですが、それが身に付いている板二小の子供たちを誇りにさえ思いました。

学校全体では６月１９日～７月７日までを読書旬間に設定しています。特にこの３週間は読書に励んでもらうように様々な取組をしています。保護者ボランティアの方や担任、担任以外の教員（管理職も含む）による朝の時間の本の読み聞かせ、菅家図書館司書による昼の放送による読み聞かせ、図書委員会のメンバーによる取組、図書館内の本の紹介などその取組は様々です。担任も朝読書の時間には、児童と一緒に読書に取り組み、学校全体が読書に親しんでいます。

学校はご存じの通り、意図的計画的にねらいをもって様々な取組をしています。学校に課せられる様々な課題や取組に対して、バランス良く取り組めるよう計画し実行しています。一つ一つの取組や行事を見れば物足りない感じを受けるかもしれませんが、時間等の制約のある中、工夫して取り組んでいることに御理解をいただけると幸いです。